



曾谷の風

学校教育目標「『ゆめ あすから』チャレンジする子どもたち」

市川市立曾谷小学校
校長 田部井 伸郎

→爽風学園ブログはこちら

→学校ホームページはこちら

曾谷っ子の合言葉 「元気・本気・勇気」～3つのキを育てよう～



第1回学校評価（保護者・児童 市平均との比較）

6月に行われた、第1回学校評価アンケートの結果は、9月の学校だよりに掲載しました。今回は、市教育委員会から示された市平均と比較した結果を以下に掲載します。

令和6年度 第1回学校評価（市平均との比較）

児童

令和6年度6月

4=そう思う 3=ややそう思う 2=あまり思わない 1=そう思わない

(よくできている) (できている) (あまりできていない) (できていない)

(1) 元気(体)

質問	実施	4	3	2	1	4+3
1 日頃から、運動やスポーツに親しんでいますか。	市川市 R6年6月	47%	25%	18%	10%	72%
	曾谷小 R6年6月	53%	28%	13%	6%	81%
2 給食では、栄養やマナーなどを意識して食べていますか。	市川市 R6年6月	47%	36%	12%	5%	83%
	曾谷小 R6年6月	55%	37%	6%	2%	92%

(2) 本気(知)

質問	実施	4	3	2	1	4+3
1 目標を持って学習したり生活したりしていますか。	市川市 R6年6月	36%	45%	15%	4%	81%
	曾谷小 R6年6月	30%	54%	13%	3%	84%
2 調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味を持って学習に取り組んでいますか。	市川市 R6年6月	34%	43%	18%	5%	77%
	曾谷小 R6年6月	37%	49%	12%	3%	86%
3 日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。	市川市 R6年6月	29%	30%	28%	13%	59%
	曾谷小 R6年6月	34%	41%	18%	7%	75%
4 日々の学習で、タブレットを活用していますか。	市川市 R6年6月	34%	43%	17%	6%	77%
	曾谷小 R6年6月	60%	30%	9%	1%	90%

(3) 勇気(徳)

質問	実施	4	3	2	1	4+3
1 友達の良いところを見つけることができますか。	市川市 R6年6月	57%	35%	6%	2%	92%
	曾谷小 R6年6月	76%	21%	3%	0%	97%

(4) 信頼される学校

質 問		実施	4	3	2	1	4+3
1	学校の活動で、地域の方たちと共に学ぶ機会がありますか。	市川市 R6年6月	19%	35%	32%	14%	54%
		曾谷小 R6年6月	23%	46%	21%	10%	69%
2	困ったことがあった時に、相談できる先生がいますか。	市川市 R6年6月	43%	31%	15%	11%	74%
		曾谷小 R6年6月	52%	29%	13%	6%	81%
3	学校の活動では、体験(見る、聞く、触れる)や交流が取り入れられていると思いますか。	市川市 R6年6月	45%	41%	11%	3%	86%
		曾谷小 R6年6月	43%	50%	5%	3%	93%

【第1回 市平均との比較結果のまとめ (児童)】 ○成果・●課題

まず児童については、

○すべての項目において市平均を上回りました。

○市平均を10ポイント以上 上回る項目が4項目ありました。9ポイント以上が2つ、7ポイント以上が2つです。

○「学校の活動で、地域の方たちと共に学ぶ機会がありますか。」の項目で15ポイント上回っています。

○「日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか」の項目で16ポイント上回っています。

○比較ではないが、90%を超える肯定的評価が4項目ある。

●「学校の活動で、地域の方たちと共に学ぶ機会がありますか」の項目で市平均を15ポイント上回っているものの、肯定的評価が69%で高くない。

●「日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか」の項目で16ポイント上回るが、肯定的評価が75%で高いと言えない。

【総括】

9月の学校だよりでは、本校の保護者と本校の児童との比較だったので、他校の児童の傾向と比較することができませんでした。今回このように市平均と比較してみると、学校評価としては概ね満足できるものであったと言えます。

●の2項目について、まず「地域の方との学習」は、本校の強みであり、2学期からは多く取り組んでいるので、さらに高くなることが予想される。この点は市平均より高いことは最早気にせず、今後も取り組んでいく。

2点目の「読書に親しむ」は、季節が秋となり、これから読書週間を迎えるのみならず、東国分爽風学園としての取組も始まるので、こちらもより高くなることが予想される。しかしながら、前期から平素より取り組んでいく必要があると考えています。こちらも「地域の方との学習」同様、市平均との比較ではなく、本校として今後も取り組んでいくものとします。

保護者

令和6年度6月

4=そう思う 3=ややそう思う 2=あまり思わない 1=そう思わない

(よくできている) (できている) (あまりできていない) (できていない)

(1) 元気(体)

	質問	実施	4	3	2	1	4+3
1	お子さんは、運動やスポーツに親しんでいますか。	市川市 R6年6月	43%	34%	18%	5%	77%
		曾谷小 R6年6月	44%	31%	21%	4%	75%
2	お子さんは、望ましい食習慣が身についていますか。	市川市 R6年6月	30%	49%	18%	3%	79%
		曾谷小 R6年6月	31%	52%	15%	2%	83%

(2) 本気(知)

	質問	実施	4	3	2	1	4+3
1	お子さんは、目標を持って学習したり生活したりしていますか。	市川市 R6年6月	22%	48%	26%	4%	70%
		曾谷小 R6年6月	18%	56%	24%	2%	74%
2	お子さんは、調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味を持って学習に取り組んでいますか。	市川市 R6年6月	23%	45%	28%	4%	68%
		曾谷小 R6年6月	22%	46%	27%	5%	68%
3	お子さんは、日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。	市川市 R6年6月	21%	30%	35%	14%	51%
		曾谷小 R6年6月	17%	30%	40%	13%	47%
4	お子さんは、毎日の学習でタブレットを活用していますか。	市川市 R6年6月	16%	25%	29%	30%	41%
		曾谷小 R6年6月	19%	21%	28%	32%	40%

(3) 勇気(徳)

	質問	実施	4	3	2	1	4+3
1	お子さんは、友達と「お互いの良さを認め合う」ような関係づくりができていますか。	市川市 R6年6月	35%	55%	9%	1%	90%
		曾谷小 R6年6月	32%	57%	10%	1%	89%

(4) 信頼される学校

	質問	実施	4	3	2	1	4+3
1	学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる取組を進めていると思いますか。	市川市 R6年6月	27%	58%	13%	2%	85%
		曾谷小 R6年6月	23%	61%	14%	2%	84%
2	学校には、一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制が整っていると思いますか。	市川市 R6年6月	17%	53%	25%	5%	70%
		曾谷小 R6年6月	18%	51%	27%	4%	69%
3	学校は、体験活動を取り入れていると思いますか。	市川市 R6年6月	29%	54%	15%	2%	83%
		曾谷小 R6年6月	20%	53%	25%	2%	73%

【第1回 市平均との比較結果のまとめ(保護者)】 ○成果・●課題

保護者については、

○市平均を2項目で上回り、1項目で同値。その他は概ね市平均と同等

●「学校は、体験活動を取り入れていると思いますか」の項目で10ポイント下回る

●「日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか」の項目で市平均から4ポイント下回る

【総括】

保護者は市平均との比較は概ね同等ですが、市平均より大幅に低い、「読書に親しむ」ことと、「体験活動に取り組む」ことについてです。

まず「読書に親しむ」項目については、読書週間やイベントに頼りすぎることなく、平素からの学習を通じた取組を充実させます。

続いて「体験活動」については、文部科学省が主な例を紹介しています。

「地域の先生との…」、「ふるさとの良さを生かした…」、「地域環境を生かした…」、「お年寄りと交流し…」、「地域の素材や人材を生かし、地域に誇りを持つ…」、「学校と地域を通じた奉仕活動」、「学校全体で進めるボランティア活動」、「豊かなふれあいとボランティア活動」などなど。

上記のような例を見てみると、曾谷小学校の学区では体験活動の行われる機会は多いのではないかと考えます。おまつりや行事は学校での活動ではないですが、学習を通じて地域の素材や人材と関わることが多いです。

またボランティアについて考えると、中学生からは大人と同じような活動をお願いすることができ、その活動について市教育委員会からボランティア証明書を発行することもできます。

しかし学校と地域の双方向性を考えたとき、小学生が行うことができるボランティア活動は、「お祭り・地域行事への参加」による地域への貢献なのです。特に、縄文まつりでのエイサーやコーラス部の出演依頼に対する参加などは、小学生のボランティア活動として筆頭に考えられるものです。

ですから、地域も、地域人材も、ボランティアも、この学区の子どもたちは立派に体験活動を行っていると考えられます。加えて、小規模校の強みを生かした「なかよし活動」などの取組もしています。

この点についての理解が得られるよう、今後もしっかりと周知に取り組んでまいります。

今後とも学校運営にご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。次回の学校評価は12月に実施します。